



メディセーフウィズの特長



## インスリンポンプ療法とは？

腹部などに携帯型の小型ポンプを装着し、皮下に留置した細く柔らかいプラスチック針（カニューレ）を通じて、超速効型、又は速効型インスリンを持続的に投与する治療方法です。

ご希望があればぜひお声がけください！

インスリンポンプが採用となりました

当院採用のインスリンを分かりやすく提示しています

### 当院採用のインスリン製剤

種類	時間	商品名	製剤写真	注射回数
超速効型	食直前(5分前)	リスプロ BS 注シロスター		主1回の回
		インスリンアスパルト BS 注シロスター		
		ホセト注シロスター (限定)		
超々速効型	食直前	ルムシエア注シロスター		3回の回
速効型	食前	ヒューマリンR注シロスター		主1回の回
		ヒューマリンR注シロスター		
持効型		ヒルシグナルキリン BS 注シロスター		主1回の回
		レベミル注シロスター		
		ヒューマリンG注シロスター		
		ヒューマリンN注シロスター		

種類	注射時間	商品名	製剤写真	注射回数
速効型・中絶(混合製)	食直前	ホセト30シロスター注シロスター(世界)		主1回の回
		ゾルファイ配合注シロスター		
速効型・中絶(混合製)		ライゾテック配合注シロスター		1回の回

### 当院採用の GLP-1 受容体作動

商品名	製剤写真	注射回数	特徴
ヒルシグナルキリン 皮下注		1日1回	1回 0.3mg、以降増量(0.3mgまで)
トリリチン皮下注 アナスタ		週1回	1回 0.75mg
オセメタン		週1回	開始用量 0.25mg、4週間後 0.5mgに増量(1mgまで増量可)

患者会でウォークラリーに参加しました！



11月14日は「世界糖尿病デー」

©JMA GROUP